

2024 年度 高大接続入試【事前体験型】

工学部の講評

事前体験型講義

2024 年度入試は電気電子工学科、情報工学科が名古屋キャンパスで講義を実施し、講義はレポート記入時間を含めて 80 分×2 コマ行いました。

情報工学科教員が「グラフ理論」というテーマで講義を行いました。数学 A で学ぶオイラーの多面体定理について、グラフを使って再考するとともに、グラフを使用した計算について学びました。また、電気電子工学科教員は、「気体分子の確率分布」というテーマで講義を行いました。「マクスウェルの悪魔」の理論、及び物理学の視点におけるマクスウェルの悪魔への反論の歴史について学びました。

レポート

レポートのテーマは、講義をどれだけ理解できているかを確認する内容や、講義をふまえて理論を説明する内容となっていました。レポートの出来は適度に分散しており、優れたレポートは、それぞれの講義について理解していることがはっきりわかる内容となっていました。

選考

事前体験型講義を受講することで受験資格が得られます。

本入試では、出願書類、事前体験型講義の際に課したレポート、11 月 25 日（土）に実施した数学基礎学力型試験の結果をもとに総合的に判定しました。

まとめ

「高校で学習した数学や物理が大学の講義でどのように活用されるのか」という内容で講義を行いました。高校の授業とは異なる内容及び形態であったことから、緊張感があり、高校生は集中して講義を受けている印象がありました。レポートについては、理解するだけでなく、それを他者に伝わるように説明する必要があります。そのため、レポートでは、講義の内容を理解したうえで自分の考えを表現する能力を図ることができたと思います。